

サービスロボット事業化交流会

2025年度 第2回 全体会議

ロボット事業を加速させる新たなチャレンジ



日時

2026年1月27日(火曜日) 15:00-18:30

場所

第1部 : テレコムセンター2F(リアル会場参加)
Teams Webinar (WEB参加)

第2部 : テレコムセンター内 キッチン青海珈琲

第1部

・開催のご挨拶

情報システム技術部 ロボット技術グループ 武田 有志

・ご講演

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 名誉教授 佐藤 知正氏

TOPPANホールディングス株式会社 事業開発本部 博士 森本 哲郎氏

・新規事業取り組み紹介

アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド 代表取締役社長 中村 憲一氏

NUWAロボティクスJAPAN株式会社 代表取締役社長 矢吹 雅彦氏

・交流会加入新メンバーによる自社紹介

25年度上期加入企業

・26年度の交流会の取組み

交流会事務局

・懇親会

参加費: 第1部全体会議参加 無料

第2部懇親会参加 有料(1500円)

申し込みはこちら

第2部

申込

主催 : 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 研究開発本部 情報システム技術部
ロボット技術グループ サービスロボット事業化交流会

お問い合わせ先: サービスロボット事業化交流会事務局 robotbusiness@iri-tokyo.jp

サービスロボット事業化交流会 全体会議

タイムテーブル(予定)

- 第1部 - 15:00~17:25

◆開催のご挨拶

15:00-15:10 情報システム技術部 ロボット技術グループ 武田 有志

◆ご講演

15:10~16:00 東京大学大学院新領域創成科学研究科名誉教授 佐藤 知正氏
16:00~16:30 TOPPANホールディングス株式会社 事業開発本部
インキュベーション部 ロボティクスチーム 博士 森本 哲郎氏

◆新規事業取り組み紹介

16:30-16:50 アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド 中村憲一氏
16:50-17:10 NUWAロボティクスJAPAN株式会社 矢吹 雅彦氏

◆交流会加入新メンバーによる自社紹介

17:10~17:20 25年度上期加入企業

◆事務局報告

17:20~17:25 交流会事務局

- 第2部 - 17:30~18:30

◆懇親会

※場所:テレコムセンター内キッチン青海珈琲

※会費:1500円

※軽食と飲み物を準備いたします。

(アルコールはございません)

場所:東京都江東区青海2-5-10

テレコムセンタービル 東棟 2階

電車アクセス:ゆりかもめ テレコムセンター駅 歩2分



主催 : 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 研究開発本部 情報システム技術部
ロボット技術グループ サービスロボット事業化交流会

お問い合わせ先:サービスロボット事業化交流会事務局 robotbusiness@iri-tokyo.jp

ご講演者紹介

■ご講演者

東京大学大学院 新領域創成科学研究科
名誉教授 佐藤 知正氏



(さとう・ともまさ 1973年東京大学産業機械工学科卒業、1976年同博士課程修了後、電子技術総合研究所に入所。その後東京大学先端科学技術研究センターなどを経て遠隔操縦・環境型ロボットなどの研究・開発に現在も従事する。

現在、

- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) ロボット・AI部 アドバイザー
- ・ロボットデリバリー協会 代表理事

等様々な要職に就かれ、日本のロボット産業の発展に寄与されています。

(都産技研 ロボット技術グループアドバイザー兼務)

講演タイトル:ロボット事業化のこれまでの50年と 生成AIを活用するこれからのチャレンジ

骨子:本公演では、

前半で、<ロボット事業化のこれまでの50年>と題し、産業ロボットの成功事例の経験(“改善集積”)を必ずしも十分に活かしきれていない現状を、“日本のサービスロボットの罠”として紹介いたします。また、それを打破する試みの1つとして動き始めた経産省/NEDOの戦略にも触れます。

後半では、<生成AIを活用するこれからのチャレンジ>と題して、罠を克服する可能性を秘めていることを、生成AIが提供する機能を踏まえて解説したいと思います。

最後に、世界における日本の役割として、その展開の姿を、私の思いとしてお伝えいたします。

ご講演者紹介

■ご講演者

TOPPANホールディングス株式会社 事業開発本部 BIC
インキュベーション3部 サービスロボット開発チーム
情報理工学博士 森本 哲郎氏



(もりもとてつろう) 1999年入社。VR開発および東京大学での博士号取得(情報理工学)経験を経て、R&D部門にて先端画像処理技術(特殊物体の三次元計測等)の研究に従事。2015年、「技術の事業化」に主軸を移すべく事業開発本部へ異動。研究者としての深い技術バックグラウンドとビジネス視点を融合させ、人体計測やロボティクス領域で複数の新規事業を創出。現在はロボティクスチームのリーダーとして、先端技術の社会実装に向けたプロジェクトを推進。

講演タイトル:デジタルツインソリューションTransBots®のご紹介

骨子:労働力不足という社会課題の解決に向けて、サービスロボットへの期待は年々高まっています。しかし、メーカーの異なる「異種複数台」のロボットが実装される近い将来、その運用管理や設備連携は極めて複雑になることが予想されます。本講演では、三次元仮想空間(デジタルツイン)上から、遠隔にて各種ロボットの効率的な一元管理や設備連携を直感的に行うことができるソリューション「TransBots®」について解説します。実際の導入事例の映像などを交え、その将来展望についてご説明します。

新規事業取り組み紹介

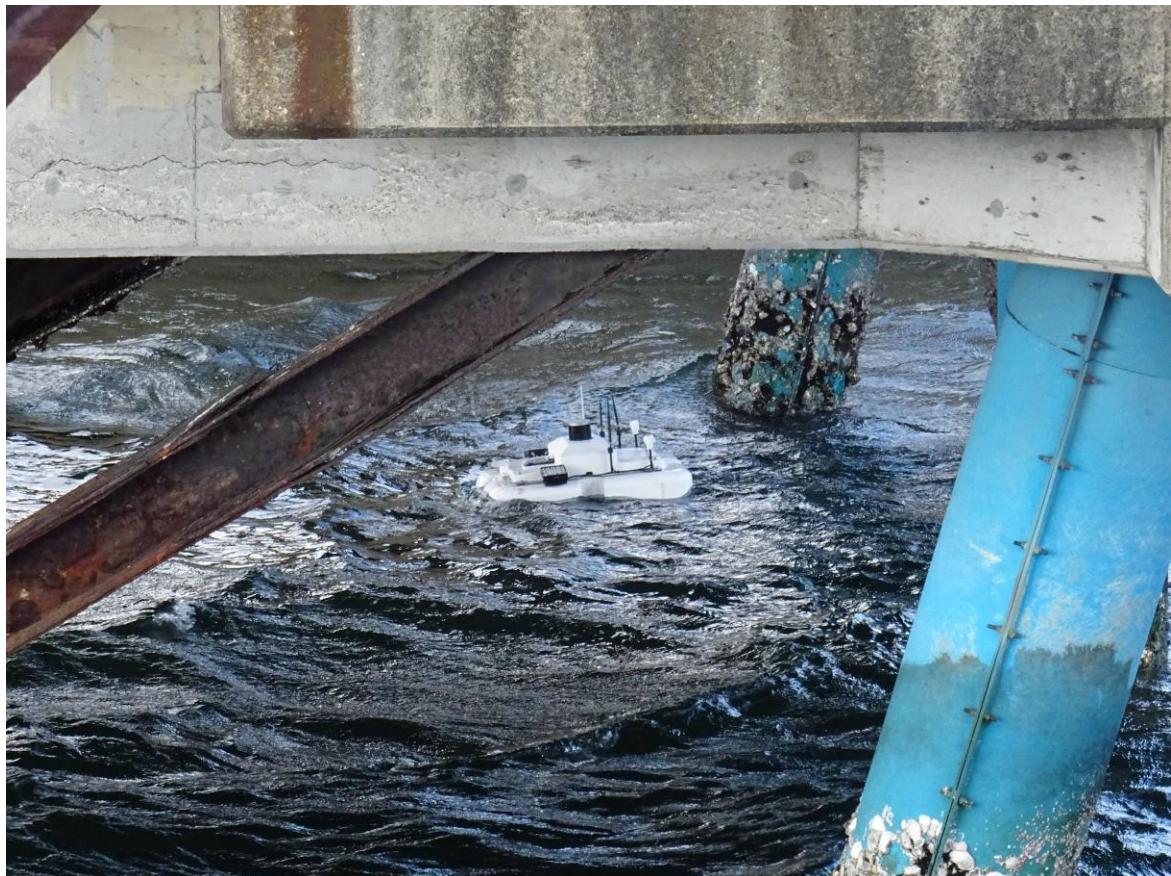
■発表者

アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド
代表取締役社長 中村 憲一氏

タイトル：自律型桟橋点検支援ロボットの実証実験 — 事業化への挑戦 —

サービスロボット事業化交流会企業様の成果のご紹介になります。

現在、日本の港湾インフラは老朽化が進行しており、2030年には建設後50年以上経過する港湾施設が44%(約27,280施設)に急増すると見込まれています。多数の桟橋を目視で点検するには膨大な工数が必要です。そこで、桟橋の自動点検調査を目指した「自律型桟橋点検支援ロボットの研究開発」を行い、水上を自動航行して桟橋下部の画像を取得するロボット「YURA」を開発いたしました。その実証実験の取り組みと事業に向かっての今後の取り組みをご紹介します。



新規事業取り組み紹介

■発表者

NUWAロボティクスJAPAN株式会社

代表取締役社長 矢吹 雅彦氏

タイトル:ディスプレイ付きおもてなしロボットCollibotの活用事例

サービスロボット事業化交流会企業様の成果のご紹介になります。小売業の働き手不足も大きな社会課題の1つです。これからご紹介するロボットは、サイネージ用のディスプレイが付いた自律移動型ロボットCollibot(コリボ)が、AI技術・RAG技術を使う事で、お店独自情報をわかりやすくお客様に伝えるなど質の高いおもてなし接客を行うというものです。

AIと自律移動型ロボットの利用シーン提案をいたします。



交流会加入新メンバーによる自社紹介企業

順	企業名/役職/ご指名	時間目安	企業分類	企業概要
1	Kafeido(カフェイド) 株式会社 Founder & CEO ベルマ トウシャール氏	17:10- 17:15	システムインテ グレーター・ コンサル業	Kafeidoは、コーヒー事業を起点に、ロボ ティクスとAIを活用した次世代型カフェ・飲 料提供ソリューションを開発しています。 現在は、無人・省人化を実現するロボティッ クカフェの企画・検証を進めており、日本の 高密度都市環境に適した新しい飲食モデル の構築を目指しています。
2	TWOFOUR DESIGN WORKS 合同会社 社長 辻 馨太郎氏	17:15- 17:20	デザイン・開発・ Sier 関連サービス	プロダクトデザイン、工業デザインの開発受 託を行っている会社です。 現在検討中のaruc.という開発商材のご紹 介をいたします。本商材は、コンセプト展示 という事で、CEATEC/国際ロボット展と展 示し、多くの方にご意見を頂戴いたしました。 今後の方向性を決めるうえで、交流会の皆 様のご意見も拝聴したいという思いで、ご紹 介をさせていただきます。

懇親会

たくさんの皆さんとお知り合いになれます。

交流会・懇親会がきっかけで、ビジネススタートされた企業様もございます。
是非、懇親会にもご参加ください。

お飲み物と簡単なお食事をご用意させていただいております。

会費・1500円/人(予定)

場所:キッチン青海珈琲(テレコムセンター2F 入口右)



前回のご様子

